

第6学年社会科学学習指導案

1 小単元名 水害から私たちを守る政治の働き ～御笠川災害対策事業～

2 指導観

こんな子どもだから

○ これまでの歴史学習を通して、過去の日本においては、現在の民主主義とは違う政治や人々の暮らしが営まれていたことを学習してきている。その中で、「人権」という言葉の概念について、平等や自由等のイメージを持つようになってきている。

(関心・意欲・態度)

○ これまでの歴史学習を通して、為政者の政策により、人々の暮らしが様変わりすることを学習してきている。このような学習を通して、政治と人々の暮らしには密接なつながりがあることを考えることができるようになってきている。

(思考・判断)

○ 年表や地図等の資料から、必要な情報を的確に読み取る力は身に付いてきている。

一方、自分の予想を確かめるための資料を収集・選択する力に課題がみられる児童や、考えを文字や言葉で表現することを課題とする児童も多い。

(観察・資料活用・表現)

○ これまでの生活を通して、学校や公民館等の公共施設の建設に税金が使われていることに気付いている。

また、先日受講した「租税教室」を通して、税金は議会で使途が話し合われていることも理解してきている。

(知識・理解)

こんな教材で

本小単元は、新しい学習指導要領に示された“内容の改善”に対応し、災害復旧の取組を選択して我が国の政治の働きを学習するものである。

ここでは、校区を流れる御笠川の災害対策事業を取り上げ、御笠川の河川工事の様子や経緯と、工事に対する人々の願いを調べることを通して、地域の人々の生活の安定と向上を図る政治の働きについて考えることをねらいとしている。

御笠川の災害対策事業は、平成11年と平成15年におこった都市型洪水の災害復旧として行われたものである。また、この事業は、法律に基づいて、国・県・市が協力しながら推進してきたものであり、その過程で、御笠川流域の地域住民の願いを取り入れながら工事完成に至っている。

この御笠川改修事業を取り上げることは、次の点で価値があると考えられる。

- ① 15年度豪雨時の浸水箇所である弥生校区の子どもたちにとって身近な事業であり、関心の高まりを期待できる。また、地域での調査活動等、具体的な学習を展開することができる。
- ② 事業の経緯を調べる中で、行政の動きや国の援助といった政治の働きについて具体的に見ることができる。
- ③ 「安全な御笠川を」という地域住民の願いの実現に、政治の働きが反映していることに気付くことができる。

以上のように、御笠川災害対策事業は、政治の働きを考える上で、価値ある教材であると考えられる。

こんな方法で

【つかむ段階】

御笠川災害対策事業に関する学習問題をつくるために、次の手立てをとる。

- 平成 15 年当時と現在の御笠川の様子を写真で提示し、川の変化に気付かせる。

学習問題

福岡県は、なぜ、400 億円の工事をすることができたのだろう。

次に、学習問題に対する予想を明確にし、追究の見通しを持たせるために、次の手立てをとる。

- 被災した住民の様子と工期や予算にかかわる事実から、「強い願い」と「県の予算」のいずれかの予想を持たせる。

【さぐる段階】

こだわりを持って追究活動ができるように、次の手立てをとる。

- 地域の方々や工事関係者への聞き取りをもとに、工事関係者の願いや工事の経緯を調べさせる。
- 自分の考えを資料から分かったキーワードとともに表現物にまとめさせる。

【まとめる段階】

学習問題に対する確かな自分の考えを持たせるために、次の手立てをとる。

- 『激甚災害の適用により多額の予算を計上できた』が話題の中心になるように、「県の予算」と考えている児童を代表に選出する。
- 互いに他方の考えとのつながりを考えさせ、住民の願いを受け止めた県土事務所の人々の働きについて考えさせる。

こんな子どもへ

- 御笠川流域の住民の願いを実現するために「御笠川災害対策事業」が行われたことに興味を持ち、税金や市や県の議会の役割・国の援助等の政治の働きについて意欲的に追究することができる子ども

(関心・意欲・態度)

- 「御笠川災害対策事業」を実行するために、緊急に多額の予算を確保することができた理由を考えることができるとともに、私たちの生活の安定と向上の実現には、住民が政治に声を届ける努力と地方公共団体の働きが重要な役割を果たしていることを考えることができる子ども

(思考・判断)

- 「御笠川災害対策事業」に関する資料をもとに、学習問題に対する自分の考えをつくることができるとともに、自分の考えのわけとなる資料を提示しながら、明確に友だちに伝えることができる子ども

(観察・資料活用・表現)

- 私たちの生活の安定と向上に欠かすことのできない「御笠川災害対策事業」は、福岡市や福岡県、そして国の政治の働きで完成したことを理解することができる子ども

(知識・理解)

/ さ ぐ る / ま と め る	2	<p>4 計画をもとに調べ学習を行い、学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p> <p>(1) 計画をもとに調べ学習を行う。</p> <p>【強い願い；〇〇さんを中心に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・被災した住民への被害状況の聞き取り調査 ・住民への災害対策事業に関する説明会の実施 <p>【県の予算；□□さんを中心に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害復旧に向けて、国土交通省との連携 ・災害発生直後の痕跡調査から工事計画作成 ・激甚災害の適用により工事予算を確保 <p>(2) 学習問題の答えを表現物にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ゲストを教室に招き、直接聞き取りができる場を設定する。また、児童に資料を提供する際には、児童用に加工した平易な資料を与える。 ○ 積極的な情報交換を促すために、「今日の学習で」等の記述をもとに、子どもたちの調べ学習を組織化し、グループでの活動に発展させていく。 ○ 代表児童を選び、発表の準備をさせておく。また、聞き手の構えを作っておくために、あらかじめ代表児童の発表内容を知らせておく。
	2 ① 本 時 1 組	<p>5 学習問題の答えを話し合い、自分の考えを見直す。</p> <p>(1) 調べたことをもとに、学習問題の答えについて話し合う。</p> <div data-bbox="274 929 887 1393" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>《代表児童の考え》</p> <p>工事を完成させることができたのは、□□さんたちの働きで国交省と連携することができたからだ。400億円という予算も、激甚災害に指定されたから準備することができた。</p> <p>○ 何度も調査を繰り返し、工事の規模や予算について検討を重ねた。そして、国に対して工事の必要性を訴えた（安全な生活・被害を繰り返さない）</p> <p>→ 激甚法が適用され、200億円の国の援助を受けることが出来た。</p> </div> <p>(2) 話し合いをもとに、自分の考えを見直す。</p>	<div data-bbox="928 766 1455 1422" style="border: 2px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>交流・評価する活動</p> <p>自分の考えを確かにするために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「□□さんたちの迅速で綿密な調査や計画立案により、国と連携して工事を完成することができた」という代表児童の予想を提示する。 ○ もう一方の「強い願い」にかかわる意見と交流する中で、互いの共通点である『住民の願いを受け止めた県土河川課の人々の働き』について考えることができるような話し合いを行う。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの生活と政治の関係についてのまとめを書かせるために、教室の掲示物や学習ノート等をもとに黒板に今回の学習のキーワードを書き出し、その後、それらの言葉をつなげさせていく。 ○ 被災された方の「自分たちから積極的に動いて、政治に関わる人に自分たちの声を聞いてもらうことが大事である」という言葉を紹介する。
①	<p>6 これまでの学習をふり振り返り、自分の考えをまとめる。</p> <div data-bbox="274 1579 887 1998" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>御笠川災害対策事業の学習を通して、政治は私たちの命や家等を守る働きをしていることを知りました。今、大雨が降っても安心して過ごすことができるのも、政治の働きのおかげです。</p> <p><u>わたしたちの願いを実現するためには、政治の働きが大切だということが分かりました。また、願いを実現するためには、政治に関わる人に自分たちの声を積極的に届けることも大事なのだということも分かりました。</u></p> </div>		

5 本時目標

- 福岡県が「御笠川災害対策事業」を実行するために、緊急に多額の予算を確保することができた理由を考えることができる。 (思考・判断)

6 本時指導の考え方

前時までの学習で、子どもたちは「強い願いを持っていたから、工事を完成することができたのではないかと」「きちんとした工事の計画を立てたから、工事を完成することができたのではないかと」といういずれかの考えを持っている。本時では、この二つの考えの交流を通してそれぞれの考えを確かめるとともに、それぞれの考えをつなぐことでより確かな考えへと変容させることをねらいとしている。

そこで、本時の指導にあたっては、以下の手立てを取りながら学習を進めていく。

手立て（1）自分の考えを友だちに伝える表現物づくり

- 右の図のように、3枚の短冊形のカードに、「自分の考え」と「資料からわかること」を記入させる
 発言の際には、まず1枚目のカードを使って、自分の考えを明確に友だちに伝えてから、そのような考えになったわけを2～3枚目のカードをもとに説明することを指示しておく。

《考え》 きちんとした工事の計画を立てたから（名前）
《わけ》 ・国交省との連携により激甚災害指定となる
・住民への聞き取り調査 ・素早い工事計画の立案

手立て（2）自分の考えを確かにする話し合い活動

- 発言をする際には、黒板に貼られた表現物にある“名前”等を頼りとし、発言の冒頭に友だちの考えに対する評価を述べるようにさせる。このことにより、自分の考えと友だちの考えの相違点やつながりを意識させていく。
 また、発言の際には、上記の表現物の使用と共に、教室に掲示された資料（県の職員の動きがわかる）等の資料を使うようにさせる。
- 緊急に多額の予算を確保できたのは、国交省との連携が順調に行われた（激甚災害に指定された）ということが大きな理由である。
 そこで、ねらいに沿った話し合いを進めることができるように、「工事を完成させることができたのは、□□さんたちの働きで国交省と連携することができたからだ。400億円という予算も、激甚災害に指定されたから準備することができた」という考えを持つ児童を選び、その提案を話し合いの中心に据える。
- お互いの考えをつなぐために、「(○○さんと同様に) □□さんもまた、住民の願いを実現したいという強い願いを持っていたから」という意見を持っている児童を意図的に指名したり、二つの考えの共通点（出発点）がどちらも「住民の願い」であることを板書の中で強調する等の工夫をしたりしながらお互いの考えをつなぎ、県土河川課の人々の働きに対する一人一人の考えを確かなものにしていくようにする。

7 本時の展開

学習活動・内容	支援
<p>前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>めあて</p> <p>友だちの発表をもとに学習問題の答えを話し合い、考えを確かにしよう。</p> </div> <div style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>学習問題</p> <p>福岡県は、なぜ、400億円の工事をすることができたのだろう。</p> </div>	<p>○ めあてを意識させるために、前時に書いた「今日の学習で」を2名発表させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決に向け、話し合いへの意欲を高めている児童 ・自分の考えにこだわり（自信）を持っている児童
<p>2 代表児童の考えをもとに、学習問題の答えを話し合う。</p> <p>(1) 代表児童の考えを聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>《代表児童の考え》</p> <p>工事を完成させることができたのは、□□さんたちの働きで国交省と連携することができたからだ。400億円という予算も、激甚災害に指定されたから準備することができた。</p> <p>○ 何度も調査を繰り返し、工事の規模や予算について検討を重ねた。そして、国に対して工事の必要性（安全な生活・被害を繰り返さない）を訴えた。</p> <p>→ <u>激甚法が適用され、200億円の国の援助が。</u></p> </div>	<p>○ 話し合いの時間を提示し、今日の学習の進行について確認させる。</p> <p>○ 代表児童を中心にした話し合いを展開することができるように、代表児童には前もって予想される質問等を伝えておく。</p> <p>○ まず、お互いの考えが妥当であることを確認していくための話し合いを進める。</p>
<p>(2) 代表児童の考えをもとに話し合う。</p> <div style="text-align: center; margin-bottom: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">国 … 国土交通省による「激甚災害」の指定</div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%; text-align: center;">調査書提出</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%; text-align: center;">事業許可</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto; text-align: center;"> 県…□□さんを中心とした国交省との連携 ○○さんを中心とした住民への調査や説明 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%; text-align: center;">要望・陳情</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 40%; text-align: center;">調査・説明 事業実施</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; width: 100%; margin-top: 5px;"> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="text-align: center;">↓</div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto; text-align: center;"> 住民の様子(声や願い)・被災地域の惨状 </div> </div>	<p>○ 住民の声が国や県の動きを押し上げる働きをしていたことや、県の議員も住民代表として、住民の要望を国に直接伝えていたことにもふれる。</p> <p>○ 政治には、人々の命を守る役目と予算を配分するという大きな使命があることを補説する。</p>
<p>3 学習問題に対する自分の考えをまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>□□さんや○○さんたちが、住民の願いを実現するために工夫や努力をしたから工事を完成することができた。</p> </div> <p>4 「今日の学習で」を書き、話し合いをふり返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 政治とは、自分の生活を守るものだ。 ・ ○○さんのおかげで、自分の考えがよりよいものになりました。 	<p>○ 「政治とはどんなものか」「誰の発言が役に立ったか」の2点から書かせ、交流・評価に生かす。</p>

4 本時（3／7） 学習を見通す活動 6年 組教室において

5 本時目標

- 学習問題の予想について話し合い、「福岡県は、なぜ、400億円の工事をすることができたのか」自分の予想を見直し、学習の見通しを持つことができる。

（思考・判断）

6 本時指導の考え

本時指導にあたっては、予想について話し合い、「福岡県は、なぜ、400億円の工事をすることができたのか」次時からの調べ学習の見通しを持つことをねらいとしている。

そこで本時では、代表児童の予想をもとに話し合っていく。話し合いの中で、別の予想が出なかった時は、子どもの考えを揺さぶりながら、「人々を守りたいという強い願いがあったから」という予想を出させる。そして、話し合いを通して、自分の予想を確かなものにしていく。

次時からの調べ学習の見通しを持つことができるために、以下のような手立てを取りながら学習を進めていく。

学習を見通す活動の工夫

手立て（1） 自分の予想を友だちに伝える表現物づくり

- 発表する時に、友だちに自分の予想とそのわけが明確に伝わる表現物を作成する。
具体的には、代表児童に下の図のような表現物を準備させておく。

予想	県の予算から出したから
わけ	御笠川は県が管理している川なので、福岡県は工事を する責任があったからだと思う。▪

手立て（2） 追究の内容・方法を明らかにする話し合い活動

- 表現物を利用して、予想を述べた後にわけを説明させる。また、発言の際には、上記の表現物とともに、「御笠川が2級河川であること」「管理者が福岡県であること」を示す補助資料を使うようにさせる。
- 400億円を出すことができたのは、国の援助があったからということが大きな理由である。そこでは、子どもたちの意識を費用に向けさせるために、「県が予算を出したから」という児童を代表児童に選出する。
- 自分の予想を明らかにするために、「県の予算から出したから」と予想した児童には、県が管理している河川が52河川であることや嘉穂劇場が浸水した様子の資料を提示する。平均すると河川一つに対して約30億円しか使えないこと、他にも氾濫している河川があることに気付かせ、「国が援助したのではないか」という予想を導き出し、追究の内容を明らかにしていく。「人々を守りたい強い願いがあったから」と予想した児童には、那珂土木の〇〇さんが水害当日に被災した状況を見て思ったこと、強い雨の時は、全員が外に出て川が溢れないか見張っている事実を伝え、〇〇さんの思いについて考えさせる。

7 本時の展開

学習活動と内容	支 援
<p>1 前時までの学習を想起し、本時のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="145 286 1034 443" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>めあて 友だちの発表をもとに、学習問題の答えの予想を話し合い、調べる見通しをもとう。</p> </div> <div data-bbox="145 488 1034 595" style="border: 3px double black; padding: 5px;"> <p>学習問題 福岡県は、なぜ、400億円の工事をすることができたのだろう。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までの学習をもとに交流できるように、表現物を準備させ、資料を掲示する。 ○ 自分の予想のわけが友だちにも分かるよう、表現物を提示しながら発表させる。
<p>2 学習問題の予想を話し合う。</p> <p>(1) 代表児童の予想を聞く。</p> <div data-bbox="113 719 1066 869" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私は、多分県の予算から400億円を出したから、御笠川の工事ができたと思う。わけは、県が管理している川だから県の予算から400億円を出したと思う。</p> </div> <p>(2) 代表児童の予想をもとに話し合う。</p> <p><付け加え></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 県土整備費が1600億円あるからそこから出すことができた。 <p><質問></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 御笠川だけに、1/4のお金を出すことができたのか？ ○ 県内には、他にも被害を受けた川があったのではないのですか？ <div data-bbox="113 1227 1066 1429" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私は、□□さんたちは、人々を守りたいという強い願いを持っていたから、400億円の工事が出来たと思います。わけは、被害にあった人の様子を見て、どうしても工事が必要だという思いが強かったんだと思います。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 代表児童の予想を確かめるためにまず、同じ予想を持つ児童に付け加えをさせる。 ○ 1600億円から御笠川だけに400億円を出すことは難しいと考えさせるために、県が管理している河川が52河川ある資料、嘉穂劇場が浸水した写真を提示する。 ○ ○○さんが被災状況を見て思ったこと、住民たちの苦労を伝える。 ○ 板書や友だちの発表をもとに、始めの予想がどう変わったか考えさせる。
<p>3 学習問題に対する自分の予想を明らかにする。</p> <div data-bbox="113 1525 1066 1675" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>私は、人々を守りたいという強い願いを持っていたからという意見も分かるけど、願っただけでは工事はできないと思う。だから、やっぱり県が予算を出したから工事ができたのだと思う。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ ○○さんと□□さんの仕事内容について紹介し、それぞれの調べる内容を具体的にしていく。
<p>4 今日の学習をふり返り、学習の見通しを持つ。</p> <div data-bbox="113 1771 587 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調べること〈強い願い〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 水害があった時の生活の様子について ・ ○○さんと被災した人々の話し合いの様子について </div> <div data-bbox="608 1771 1034 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>調べること〈県の予算〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ □□さんの働きについて ・ 県の予算の決め方について ・ 国の援助について </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 答えることのできなかったことや分からなかったことをもとに、これから調べることをノートに書かせる。